

30代子育て世代が
2000万円以下で建てる
木の家

アパート家賃と同じくらいの住宅ローン毎月返済で
木の家に住みたいパパ・ママへ

「夏涼しく、冬暖かい家」



2030年を見据えた「ZEH基準」の家

子育てしやすい29坪、木の家
完成見学会

6/22 ± 23日



9:30~17:00

少人数スタッフで対応しております。ご相談・セミナーをご希望の方は事前にご予約ください。また、ゆっくりとご覧になりたい方は15:00以降の見学をおすすめします。上記の日程で都合のつかない方は、お気軽にお問合せください。6/27(木)までご覧いただけます。

ご予約・お問合せ 0120-60-9016

会場：上越市 寺町2丁目 地内
(上越市福祉交流プラザ近く)



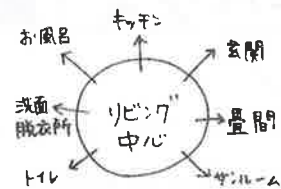
予算2000万円で
こんなお家が建てられました。

① リビングを中心とした「家事ラク」な家



リビング
ママが近くにいる安心。家事もはかどる♪

◀吹き抜けがある開放的で明るいリビング。廊下のないワンルーム型の間取りで、家事をしながら「家族がいつも一緒」、そう感じられる空間になっています。



キッチン
▲お料理好きの奥様がこだわった使いやすいキッチン

② 赤ちゃんにも安心な素材を使用

一番肌が触れる床は自然オイル塗装の無垢の床。ホルムアルデヒドを吸着分解してくれる天井・壁下地材など赤ちゃんにも安心な素材を使用

▲夏はサラッと、冬は冷たさを感じない足ざわりのよい栗材の床

③ 使いやすい場所に程よい大きさに設けた収納スペース

廊下収納



▲掃除機や同色の物が収納。使い方に合わせて棚を追加して購入家具は最小限に。

玄関収納



▲下駄箱の隣にはコート掛けも取付

階段下収納



▲階段下も有効活用

子ども室



▲お子さんの成長に合わせて将来使い方を換えられる2階の部屋

加ゼット



▲子ども室加ゼット(左)と寝室WIC(右)。布団類を収納できる3/3棚と洋服掛け。下部スペースも無駄なく使って小物類を収納

寝室加ゼット



洗面脱衣所



▲昇降式物干し付の広々洗面脱衣所

サンルーム



▲陽当たりの良いサンルーム

小上がり畳間



▲使い方が色々♪小さなお子さんもお父さんも癒される3帖の琉球畳の間

梅雨の時期にも大助かり♪「昇降式物干し」



▲壁厚を有効活用♪大工さん手づくり「洗剤洗濯小物置き場」

見学会時のご注意とお願い

- お客様のお宅をお借りして開催する見学会です。マナーを守ってご覧ください。
- 見学会の際は靴下、手袋を着用してください。手袋はこちらで用意しております。
- お子様とご来場の際はお子様から目を離さないようお願いいたします。
- ご来場時、受付にてお名前・住所の記入をお願いします。
- ぜひ他の業者・工務店さんの家も見学会を！
- 片建設では他の住宅会社・工務店さんの見学会もご覧いただき比較していただくことをおススメしています。その会社がどんな家づくりをしているか、それぞれの特徴を直接見て、聞いて、感じて自分たちの家づくりに一番あった業者を選んでください。それがよい家づくりの第一歩です。

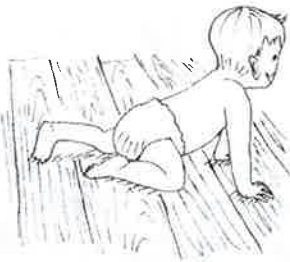
お子さんを見守りながら
家事できるのが
魅力のお宅です



創業大正8年
家を造るから1999年
片建設株式会社

木のぬくもり体感研究会

片建設 検索、f、i 上越市岡原408番地



木の家は“高い” と思っていませんか？



担当大工から一言

「木の家」は手触りが優しく湿度の調整機能にも長けているので、お子さまだけでなくご家族皆さまの快適な暮らしに役立ちます。今回のお宅も私たちが丁寧に仕上げました。また、お引渡し後の点検でこれまでに当社で家を建てて下さったお客様の声をお聞きし、ご意見を次の仕事に反映しています。これは設計から施工まで一貫して行う片建設だからできることです。



棟梁 鴨井 (65才)

とにかく船添が嫌い、ろくに仕事もせず遊び回っていたところ社長に助けられて48年…。今では片建設の大工職人をまとめるトップ。

設計管理担当から一言

専務 取締役
三川 (49才)
設計から施工管理、お引渡し～アフターサービスに至るまで家づくりを一貫して担当。



家づくりは一生に一度の大仕事です。新築時はお金がかかりますので、10年・20年後のメンテナンス時になかなか多くの費用をかけられないのはよく聞く話です。今回の施主様には、後々のメンテナンス費用をなるべく抑えられるお宅をご提案させていただきました。見栄えやデザインも大切ですが、「丈夫で長持ち」するのが一番大切なことだと思いつつながら家づくりをさせていただきました。



「15歳から家づくり一筋52年。」
片建設株式会社 代表取締役
丸山 隆史
(526年生まれうさぎ年 A型です)

こんにちは。片建設の丸山です。今回ご紹介するのは30代のご夫婦とお子様でお住まいになるお宅です。限られた予算の中でどこまでご希望を叶えられるかというご相談をいただき、①小さくても、家族4人が安心して幸せに過ごせる家、②この先20年くらいはなるべく自分たちで手入れをして専門業者に頼らないでよい家、③2～3年後に太陽光発電を入れられるように屋根の向きや勾配を考慮した家が完成しました。子育て世代のご家族様はもちろん、たくさんの方々に見ていただきたいお宅です。ぜひ見に来てください。

片建設株式会社 代表取締役 **丸山隆史**

見学会場にて同時開催！

住まいの無料相談会

- 自分たちにちょうど良い大きさのお家を見てみたい
- リフォームか新築か悩んでいる
- 予算内でどんなお家が建てられる？
- 家づくり前に知っておくべきことって？
- 良い土地ありませんか？

見学会場にて展示中！

- 木のお住まいの事例集
- ただいま建築中のお宅
- 最新補助金・優遇情報
- 会社紹介コーナー
- リフォーム事例

この見学会に来ると分かること

- なぜ住宅会社によって坪単価が違うの？
- 上越で絶対に建ててはいけない家とは？
- 雪国の気候風土にあった家づくりって？
- 丈夫で長持ちする家のつくり方
- 2030年を見据えた断熱基準とは？
- 頭のよい子を育てる住まいのポイントは？
- 土地購入の前に知っておきたいこと
- 最新補助金・優遇情報 …他



見学会場にて些細なことでもお気軽にお声掛けください！



ほっと一息
お茶のみに来ませんか？



体感できる、 モデルハウス「蔵」

ご予約受付中！

6/15土～6/30日 木のぬくもり体感見学会
7/1月～9/16月祝 夏の宿泊体験

※詳しくはHPをご覧ください。

ご予約・お問合せ

0120-60-9016

E-mail: info@katakensetsu.com

建設業許可 新潟県(特-30)第20366号 一級建築士事務所
片建設 建築設計事務所 新潟県知事登録(二)第3984号

創業大正8年
1919年
片建設株式会社
木のぬくもり体感研究会
片建設 検索、Facebook、Twitter、Instagram 上越市岡原408番地



体感で感じたい気持ち
どうぞ体感ください



建主のM様にお聞きしました

「木の家」に魅力を感じていたM様のご希望は 「小さくても質の高い家」でした

Q. 現在のお住まいについて教えてください。不便を感じていることはありますか？

A. 現在、アパートで暮らしています。以前、仕事の都合で海外に住んでいたのですが、その期間も含めると、13年ほどアパート暮らしをしています。アパートは住んでいて、「狭いな」と感じます。それから、洗濯物を干すスペースがないことや、お風呂の浴槽が狭いことも不便です。

Q. 家を建てようと思ったきっかけは？

A. アパートで子どもが走り回ったり、音をたてたりするなど、周りの部屋に気を使うことが多くなりました。「いつまでもアパートに住むわけにいかない」と思いました。アパートの更新時期が近づいたこともあって新築の検討を始めました。40歳になる前にローンを組みたいと思ったこともきっかけの一つです。

Q. どのように家づくりを進めましたか？

A. 家を建てようと思ってから、5〜6社くらいの見学会に行きました。それぞれの業者の特徴や間取りを見て決めました。ハウスメーカーが建てる家は、「この下請け業者に頼むのかわからない」という点に不安を感じました。「木の家」に魅力を感じていたこと、「小さくても質の高い家を建てたい」と思っていたので、技術力と自社大工がいることが業者選びのポイントになりました。長い目で見て安心です。

Q. 片建設に決めていただいた理由は何でしょうか？

A. 知り合いの口コミで「片建設は、質はいいけど高いよ」と聞いたことがありました。でも、「話も聞かずに決めると後悔するかもしれない」と思って片建設に問い合わせさせてみることにしました。いろいろお話を聞かせていただいた中で、片建設は自社大工さんがいるだけでなく、「木」をメインにしていることと技術力が気に入りました。また、片建設のモデルハウス「蔵」を見た時に、「こんな感じがいいな」と思いました。

Q. 新築した家でこだわったポイントを教えてください。

A. コンパクトな家なので可能な限り広く見えるようにしました。吹抜けをつくり、1階の天井の高さを工夫しました。片建設のモデルハウスを参考に、リビングと和室をつなげて空間を広く見せるようにしました。坪数を抑えて間取りを考えるのに悩みましたが、完成が近づいて、全体的に気に入っています。早く新しい家に住みたいですね。

Q. これから家を建てる方へアドバイスをお願いします。

A. 様々な業者のモデルハウスをたくさん見て、自分の家のつくり・間取りを考えることです。それぞれの業者の「いいところ取り」をすると思います。あとは実際に生活する時のことを細かくイメージすることが大事だと思います。妥協しないことも大切です。